

云	片	空
う	付	き
こ	け	家
と	る	の
	と	家
		財
		を

子供たちに迷惑をかけられない気持ち

シニア世代の片付け相談で、「空き家になるかも」という声を聞くようになったのは、終活という言葉が出始めた頃です。自分の想いを云えられる世の中になり、様々な整理を通して最期までの生き方を考える方が増えました。その中でも空き家となった実家も「負の遺産」としてよく扱われますが、実際に心の中では、思い出のある建物や親のモノの処分などに手を付けられず、そのまま悩んでいる人の方が多いと相談を頂くたびに実感しています。また、広島県内の空き家でも家財を放置しているケースが多くあります。以前は、自分が亡くなったら子供が片付けるだろう・・・という考えが多かったでしょう。ですが、今は、「子供達に迷惑をかけられない」という方が大半のようです。

要らないと思っても いざとなると・・・

ですが、いざ昔の暮らしの痕跡やモノを目にすると、次の一歩に進めないのが、所有者事情や感情です。「思い出のモノや初めて見る書類に目を止め涙する人」「兄弟や姉妹、親戚に聞かないと一人では決められない」「処分する方法や費用もわからない」「帰省の時間がない」「放っておく人」なども空き家片付けの現状です。でも、出来る限りそこに手をとめ、触れて整理をする事が大事だと考えます。

所有者の中には、「何も要らないんです」と言う方も多いで



「空き家を片付けると云うこと」は、

先代の生きざまや想い、暮らし方を知り、自分の人生に活かす、学び多い場です。この通信を通して現場での整理の状況を皆さんに実感頂き、様々な方法の中から片付け計画のヒントにして頂ければ幸いです。

住まいの
終活

空き家になる前に考えておくこと エンディングノートのすすめ

「伝えておく整理」として2010年から講座で、私の制作したエンディングノートをよく提案をしています。決して最後の時のためのものではなく、人生のふり返りをしながら、「今の気持ち」を整理して「大切なコトや大事なモノ」、「もしもの時の要望」など、自分も家族も安心をして「これから」を生きていくために整理されることをおすすめします。同時に自宅や所有する土地建物や家財についても意志を伝えておくことで、もしも、お住まいが空き家になった場合の早い対応を選択でき、今しておく空き家対策の大きな一歩になります。



空き家の整理は

想 出 整 理

“ 空き家で親のモノを片付けてみた

もう自分ではどうすればいいのかわからない ”

シニア世代の「モノとココロの整理術®」セミナーに参加された広島県内の60代のご夫婦から、ご両親亡きあと3年間放置した空き家を売却したいので片付けたいという相談がありました。夫婦では一歩もふみ出せなくて、私と一緒に考えてほしいとのことで、半年前のセミナー資料を引っ張り出して連絡を下さいました。郊外の2階建ての空き

家に現状調査に行くと、ご仏壇と代々のご遺影、介護の時の寝具や衣類、台所は古い食材や食器に調理器具が突っ込んであります。テーブルには、介護書類、残った薬が山のよう。押入れには、ご両親の若い頃から大事に取っていたよ

うなモノや写真、貰い物の箱などそのままです。足の踏み場もないほどのモノを、何からどのように片付けていくのかと不安な気持ちもしっかりと聴かせて頂きました。処分にも様々な方法があります。この家をどうしたいのか、すべてを一気に捨てるのか、見て捨てたいのかも大切なポイントです。



本当は、見て納得して捨てたい

ヒアリングの結果、「見て捨てたい」「費用のこともあり、基本は、できる事は自分たちです」とのこと。その指導を私の方でさせてもらうことになり、約2か月でできる片付け計画を立てました。片付け工程の中でも、特に家族の想いのあるモノ、仏様の関連の要不要を決めるのは難しいですが、私たちが寄り添いながらお声掛けして選別の後押しをしました。全部捨てなくても良い方法もあります。4回ほど伺ってご指導したり、方向修正をしたり、全体のコーディネートをして、予算内で様々な業者も関わって予定通り2か月ちよつとできれいになり、売却を考える時間も出来、心から安心をされました。あれだけ大変な空き家の片付けをこの計画に沿って、自分たちの手で判断をして、分別ができた自信が今後の人生の糧になっていかれるのでしょうか。

- 3年間放置した空き家を片付けたい
- 不要なモノや不明で扱いが判断できないモノがたくさんある
- 自分で見て片付けたいが・・・どこに聞けばやり方を教えてくれるのか？
- 片付け方や最後まで動きを指導してくれる人がいたので、自分で片付けることにした
- 2か月くらいの片付け計画をたててもらい実施
- 2か月後に完了！
安心と自信につながり楽になった

片付け こぼれ話

ご先代の整理の時によくあるケースですが、「義理の親族に気を遣う」お嫁さんの立場から「自分の代で整理をする勇気がない」、しかも義兄弟姉妹は、「たまに帰って泊まりたい」という声があります。そんな周囲への気遣いから空き家を置いておくケースがありますが、本心は、自分の子供達にも迷惑をかけたくないという気持ちなのです。相談者と向き合う時は、いつも表面の声よりも背景の解決が重要で、カウンセリングのような気がします。

イベント案内

所有者向け空き家相談会

【場所】広島市まちづくり市民交流プラザ
今年度の予定（申し込みが必要です）

- ・令和元年9月28日（土）
- ・令和元年11月23日（土）
- ・令和2年2月1日（土）

【時間】13：30～17：00

<http://sakurabridge.xii.jp/akiyasoudankai-2>

【お問合せ】広島市まちづくり市民交流プラザ
電話 082-545-3911

発行人 モノとココロの整理術®主催
片付けコーディネーター 湯上みどり
E-mail : yunom39@uni-ltd.com

モノとココロの整理術® <https://www.monococo.org>

有限会社ユニベック TEL 082-841-5955

一般社団法人さくらブリッジ <http://sakurabridge.xii.jp>